

〔Daily 日本史〕 ～古代→中世の社会経済史～

【問】 2002 年 愛知大学

次の A, B について, それぞれの設問に答えよ。

A 律令制下において, 人々は戸籍, (ア) に登録された。戸籍は班田收授や (イ) 確認の台帳であり, (ア) は調庸などの台帳であった。戸籍にしたがって, 人々には a 口分田が支給された。土地は基本的に国家の所有とされ, 口分田も売買することはできなかった。しかし, b 例外的に売買を許可された地種もあった。また田地を, 1 年限りで借用し, 耕作することは許されていた。そのような制度を (ウ) といった。その場合 c 借用者は (エ) を支払った。

問 1 空欄 (ア) ～ (エ) に適切な語句を入れよ。

問 2 戸籍は 6 年毎に作られることになっていたが, その原則が確認されるのはどの戸籍からか。戸籍名で答えよ。

問 3 下線部 a に関して, 口分田を一般の 3 分の 1 しか支給されない人達がいたが, その具体例をあげよ。

問 4 下線部 b の地種を何というか。

問 5 下線部 c について, その借用料は収穫の何パーセントであったか。

問 6 戸籍は律令国家の崩壊とともにその役割を終えたが, 鎌倉時代において課役賦課の台帳として各国で作られたものを何というか。

B 西暦 d (オ) 年 元明天皇は唐の開元通宝にならって (カ) を铸造し, 貨幣の使用を奨励した。政府はその後も銭貨の発行を重ねたが, 交易には稲や布などが使われることが多く, その流通はあまり活発にはならなかった。しかし, 平安末期になると, 貨幣の社会的な需要は高まり, 対中国貿易の進展によって, 大量に流入した銭貨はその後の社会, 経済に大きな影響を与えた。鎌倉時代後半になると, 貨幣経済はますます進み, 遠隔地間の決済手段として (キ) が用いられるようになり, (ク) と呼ばれる高利貸業者も出現した。港湾や交通の要衝には物資の保管・管理, 輸送, 委託販売などをこなす (ケ) が発達した。各地に定期市が立ち, 中心的な都市には常設店も出現した。当時の絵画史料の一つである (コ) には, f 備前福岡の市の様子が, 生き生きと描かれている。

問 7 空欄 (オ) ～ (コ) に適切な語句を入れよ。

問 8 下線部 d の時期の都はどこか。京の名称を記せ。

問 9 下線部 e について, この政策を積極的に推進した人物の名を記せ。

問 10 下線部 f の市は, どこにあったか。現在の県名で答えよ。

【解答】

問 1 (ア) 計帳 (イ) 氏姓 (ウ) 賃租 (エ) 地子

問 2 庚寅年籍 問 3 私奴婢(家人) 問 4 宅地(園地)

問 5 20% 問 6 大田文

問 7 (オ) 708 (カ) 和同開珎 (キ) 為替

(ク) 借上 (ケ) 問(問丸) (コ) 一遍上人絵伝

問 8 藤原京 問 9 平清盛 問 10 岡山県